困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。
したがって、走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセット(P.190)の操作を行った後は､走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間で学習させられます。

上空に障害物がない道､または周辺に高いビルがない（GPSが受信できる）道で､約5分間､法定内のスピードで定速走行を行う。

MEMO

- 自車位置マークの精度や誤差について詳しくはP.229をご覧ください。

3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州)、東京外環自動車道などです。

●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。(道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など)

自車位置の精度について

次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

<table>
<tr><th>走行条件</th><th>備考（処置など）</th></tr>
<tr><td>Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。</td><td rowspan="11">10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「現在地修正」(P.190)を行ってから、「センサーの学習リセット」(P.190)を行ってください。これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」(P.228)をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置から外れていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。</td></tr>
<tr><td>ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。</td></tr>
<tr><td>雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路から外れていることがあります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>走行条件</th><th>備考（処置など）</th></tr>
<tr><td>地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。</td><td rowspan="2">10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「現在地修正」（P.190）を行ってから、「センサーの学習リセット」（P.190）を行ってください。これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」（P.228）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。
ホリデイ・スポット更新後、またはプログラム更新後は、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。</td></tr>
<tr><td>タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。</td><td>タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、「センサーの学習リセット」（P.190）を行ってください。この操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」（P.228）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。</td><td>一度停止して、「センサーの学習リセット」（P.190）を行ってください。この操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」（P.228）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。</td><td>「現在地修正」（P.190）を行い、「センサーの学習リセット」（P.190）を行ってください。これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」（P.228）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>位置の設定の精度が悪いと、特に道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。</td><td>お願い
修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。</td></tr>
<tr><td>自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。</td><td>自車位置調整の方位修正機能で修正してください。</td></tr>
</table>

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

症状		原因	処置
表示関連	GPS受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なGPS衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに表示される。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	現在地メニューの「検索アイコンの消去」を選ぶと表示を消せます。
	地図スクロールが遅い。目的地までのルート表示が遅い。	動画再生を行っている場合、表示が遅くなる場合がある。	動画再生を終了してください。
	マルチメーターの情報が実際の走行状態と異なる	GPS情報を使用して算出しているため、実際の走行状態と異なる値になる場合がある。	故障ではありません。表示された情報をリセットしてください。(P.21)
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量が小さく（または大きく）設定されている。	音量を調整してください。(P.199)
	音声案内が出ない。	音声案内が、「OFF」に設定されている。	音声案内の設定を「ON」にしてください。(P.199)
	誘導案内の音声が、交差点に入ってから聞こえる。(発声タイミングが遅い)	「ジャストガイド」設定がONの場合、交差点直前で案内音声を発声するが、交差点形状や走行状態によっては、交差点に入ってから案内音声が聞こえてくる場合がある。	「ジャストガイド」設定をOFF(P.181)にしてください。
		動画再生を行っている場合、発声タイミングが遅くなる場合がある。	動画再生を終了してください。
自車位置精度関連	自車位置がずれる。(購入直後)	車速信号と距離の学習が不十分な可能性がある。	GPSの受信しやすい場所で、50km/h程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。(タイヤ交換後)	車速信号と距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっている。	センサーの学習記録を初期化してください。(P.190)
	自車位置がずれる。(ほかの電装品が装着されている)	GPS内蔵レーダー探知機など装着されている電装品の影響で、GPSなどのセンサーに影響が出ている可能性がある。	装着されている電装品を、本機およびGPSアンテナ線から十分離してご使用ください。

<table>
<tr><th colspan="2">症　　状</th><th>原　　因</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td colspan="4">●ナビゲーション関連</td></tr>
<tr><td rowspan="6">VICS関連</td><td rowspan="2">FM VICSが受信されない。</td><td>手動で他県の放送局を選択している。</td><td>オート選局の設定を「ON」にしてください。(P.132)</td></tr>
<tr><td>出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合はオート選局しない場合がある。</td><td>手動で放送局を選んでください。(P.131)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ビーコンの簡易図形が割り込み表示されない。</td><td>ビーコンから図形情報が提供されていないことがある。</td><td>特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割り込まない。</td><td>地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。</td></tr>
<tr><td>情報メニューに ビーコン情報 が表示されない。</td><td>ビーコンキットが接続されていない。</td><td>別売のビーコンキットを接続してください。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ETC関連</td><td>情報メニューに ETC情報 が表示されない。</td><td>ETCユニットが接続されていない。</td><td>別売のETCユニットを接続してください。</td></tr>
<tr><td>画面に「ETCエラーコード:XX」と表示される。(XXは01から07)</td><td>詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。</td><td>詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。</td></tr>
</table>

オーディオ関連

<table>
<tr><th colspan="2">症　　状</th><th>原　　因</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ラジオ</td><td>雑音が多い。</td><td>放送局の周波数に合っていない。</td><td>正しい周波数に合わせてください。(P.131)</td></tr>
<tr><td>自動で選局できない。</td><td>強い電波の放送局がない。</td><td>手動で放送局を選んでください。(P.131)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">CD/DVD/MP3/WMA/AAC</td><td rowspan="5">ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。</td><td>ディスクの裏表を逆にセットしている。</td><td>ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。</td></tr>
<tr><td>CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。</td><td>CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。</td></tr>
<tr><td>ファイナライズされていないディスクをセットしている。</td><td>ディスクをファイナライズしてから使用してください。</td></tr>
<tr><td>MIX MODE CDをセットしている。</td><td>MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。</td></tr>
<tr><td>8cmディスクをセットしている。</td><td>8cmディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。</td></tr>
</table>

	症　　状	原　　因	処　　置
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物などの混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。	販売店にご相談ください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRをセットしている。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音が飛ぶ。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布で拭いてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が悪い。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	本機の中にすでにディスクがセットされている。	すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。(P.128)
	MP3/WMA/AACの音が飛ぶ。	MP3/WMA/AACファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMA/AACの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3/WMA/AACの音が悪い。	圧縮率が大きく録音されている。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。本機で再生可能な音声ファイルについては、P.261以降をご覧ください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。
	正しく表示されない。	TAG情報が正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1、またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMA/AACが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3/WMA/AACファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMA/AACファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクが読めません」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。

	症状	原因	処置
●オーディオ関連			
iPod	リストが表示されない。	65,500曲以上のトラックを保存したiPodでトラックを再生している。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
iPod	iPodの操作ができない。	iPodとの接続が正常に行われていない場合がある。	USB接続を解除し、iPod本体を再生状態にし、再度接続を行ってください。
iPod		iPodとの通信が正常に行えない場合がある。	USB接続を解除し、iPod本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
iPod	iPodの音声が出力しない。	iPodの音声がBluetooth通信へ切り替わっている。	iPod本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（MY-CAR）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
ミュージックキャッチャー	タイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを録音した。	PC用アプリケーション「Smart Access Updater」を使った最新のアルバム情報をSDカードに保存し、アルバム情報を最新のものにしてください。 アルバム情報の更新については、P.160をご覧ください。Smart Access Updaterについては、P.225をご覧ください。 アルバム名、アーティスト名、トラック名の編集方法については、P.159をご覧ください。
ミュージックキャッチャー	表示されたタイトル（アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル）が間違っている。	Gracenote側のタイトル検索で、タイトルが合わないなど不一致の生じる場合がある。	
ミュージックキャッチャー	「情報更新中です。しばらくお待ちください」と表示され再生しない。	録音されたアルバムや曲を管理するファイルが破損、または消失しているため復旧処理を実行している。	ファイルの復旧処理が終わるまでお待ちください。録音されているアルバム数により時間がかかる場合があります。
ミュージックキャッチャー	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクの傷により音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
ミュージックキャッチャー	再生ができない。	未対応の圧縮形式で録音されたSDカードを使用している。	本機で録音したSDカードを使用して、再生してください。
ミュージックキャッチャー	録音ができない。	SDカードの容量が不足している。	録音済みの曲や、他のファイルを消してください。（P.159、P.160）
ミュージックキャッチャー		コピー禁止ディスクを使っている。	コピー可能ディスクを使って、録音してください。

症　　状		原　　因	処　　置
ミュージックキャッチャー	録音ができない。	録音に使用しているSDカードが書き込み禁止になっている。	SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。
		録音に使用しているSDカードが未対応のフォーマットになっている。	SDカードの対応フォーマット種別は、FAT32、FAT16です。お使いのパソコンでフォーマットしてください。
		SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）(P.156）で2世代目のコピーになっているなど、コピーが規制を超えている。	コピー可能なディスクをご使用ください。
	音楽CDを挿入時に録音ができない。	自動録音モードになっていない。	自動録音モードに設定してください。(P.155)
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「設定」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムが選ばれていない。	アルバムを選択してください。(P.159)
	「CD挿入時に自動録音」をONに設定している場合に、録音ができない。また、CD再生時にCDのトラックが表示されない。	何らかの事情でSDカードを認識できない。	ご使用のSDカードに問題がないかを確認してください。
SDカード／USBメモリー	SDカードから再生できない。	未対応のSDカードを使っている。	本機で使えるSDカードについては、P.10をご覧ください。
	SDカードが挿入できない。	SDカードを表裏逆に挿入している。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	USBメモリーを正常に読み取れない場合がある。	一度USBメモリーを取り外して再度挿入してください。本機で使えるUSBメモリーについては、P.10をご覧ください。
	音が飛ぶ。	MP3/WMA/AACファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。本機で再生可能な音声ファイルについては、P.261以降をご覧ください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大512（ルートを含む）、ファイルは最大8000（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。	パソコンを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	SDカード内のデータ保護のために操作パネルを開くとSDカードのオーディオ機能がOFFになる。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	MP3/WMA/AACファイルの数が違う。	MP3/WMA/AAC以外のファイルがある。	MP3/WMA/AAC以外のファイルを消去してください。

症状		原因	処置
●オーディオ関連			
SDカード／USBメモリー	ビデオファイルが再生できない。または、映像が乱れたり音が切れる。	本機で再生できるビデオファイルになっていない。	本機で再生可能な動画ファイルについては、P.266をご覧ください。
	ビデオ再生で映像がカクカクする。音が飛ぶ。	圧縮率が大きい。	
	音声再生は継続しているが、再生時間が停止している。	ファイルサイズが1GBを超えているファイルを再生中の場合、再生時間の表示が停止することがある。	故障ではありません。
ウォークマン	ウォークマンを認識しない。	USB接続ケーブルが正しく接続されていない。	USB接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
		非対応のウォークマンを使用している。	本機で対応しているウォークマンを使用してください。
	ウォークマンから再生できない。	シンプルモードのウォークマンを使用している。	「x-アプリ」など転送ソフトの設定で「インテリジェント機能を使用する」にチェックを付けて楽曲を転送してください。
		ダイレクト録音した楽曲が再生できない。	本機ではダイレクト録音した楽曲は再生できません。
	ウォークマンで再生できない楽曲がある。	「ちょい聴きmora」の楽曲が再生できない。	本機では「ちょい聴きmora」の楽曲は再生できません。
		著作権保護された楽曲の再生ができない。	本機では著作権保護された楽曲は再生できません。
TV	放送局名が表示されない。	放送局の設定をしていない、もしくは、県境などへ車が移動し同じ周波数で異なる放送局の電波を受信した。	受信できる放送局の設定をする（オートプリセット）（P.140）か、優先エリアの切り替えをしてください。（P.144）
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている。	フィルムは貼り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。
	12セグ放送が受信できない。	mini B-CASカードを読み取れない場合がある。	以下の操作を行ってください。 ① ⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開く ② mini B-CASカード挿入口のフタを手前に倒す ③ mini B-CASカードを入れ直す ④ mini B-CASカード挿入口のフタを閉める

症　状		原　因	処　置
Bluetoothオーディオ	接続できない。	Bluetooth対応機器を正しく接続していない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続してください。(P.93)
		オーディオ機器の電源が切れている。	オーディオ機器の電源を入れてください。
		オーディオ機器が近くにない。	Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてください。
	再生されない。	AVRCPに対応していないオーディオ機器を使用している。	AVRCP対応のオーディオ機器をご利用ください。
		接続オーディオ機器の状態を正常に読み取れない場合がある。	接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレーヤーを起動していない。	接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。
	トラック名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。	Bluetoothオーディオ機器から取得できない。	AVRCP1.3対応しているオーディオ機器をご使用ください。 Bluetoothオーディオ機器側の再生プレイヤーを起動し直してください。
	接続オーディオ機器から音が出なくなった。	他のBluetoothオーディオ機器に接続が切り替わっている。	Bluetooth設定画面から、再度Bluetoothオーディオ機器を指定してください。

電話

症　状	原　因	処　置
電話がつながらない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続していない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続してください。(P.93)
	携帯電話の電源が切れている。	携帯電話の電源を入れてください。
	携帯電話が近くにない。	本機とBluetooth対応携帯電話とは、無線で通信を行います。 無線の届く範囲内でないと通信ができません。携帯電話を車内に置いてください。
	携帯電話側が操作待ち状態になっている。	スマートフォンなどで複数の電話アプリケーションがインストールされている場合、お客様に操作を促す画面が表示され、発信できない場合があります。電話側の操作をしてください。

症　　状	原　　因	処　　置
●電話		
電話画面まで遷移できない。	携帯電話との接続が正常に行われない場合がある。	本機のBluetooth機能をOFF→ONにし、携帯電話側のBluetooth機能もOFF→ONにしてください。(P.102)
自動的に接続されない。	携帯電話によって、「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態にない場合、自動的に接続されないことがある。	携帯電話側の取扱説明書をご覧ください。
	携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されないことがある。	リストから接続したい携帯電話を選択してください。携帯電話の登録については、P.93をご覧ください。
通話音が聞こえづらい。	通話音量が小さく設定されている。	通話中に ＋ (MC312D-A/MC512D-A) を押す、またはロータリボリュームキー (MC312D-W/MC512D-W) を右回りに操作して、通話音量を大きくしてください。
通話者に声が聞こえづらいと言われる。	送話音量が適切でない。	送話音量を適切に設定してください。(P.101)

カーウイングス

症　　状	原　　因	処　　置
カーウイングス情報センターに接続されない。	携帯電話または通信アダプタが正しく接続されていない。	MC312D-A/Wの場合は、携帯電話の接続状態をご確認ください。 MC512D-A/Wの場合は、最寄りの日産販売会社へご相談ください。
	携帯電話回線の電波状態が悪い。	故障ではありません。電波が届きやすい場所へ移動し、接続をお試しください。
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてからおかけ直しください。
	携帯電話にダイヤルロックがかかっている、もしくは、発信規制がかかっている。(MC312D-A/Wのみ)	携帯電話のダイヤルロック、発信規制を解除してください。
	対応電話機を使用していない。	以下ホームページにて対応機種かどうか確認してください。 www.nissan-carwings.com
	カーウイングスへの申し込みをしていない。	カーウイングスへの申し込みを行ってください。詳しくは日産販売会社 (ディーラー)、またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。
メニュー項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

症　　状	原　　因	処　　置
一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。
情報が音声で読み上げられない。	音量調整が最小になっている。	カーウイングスのオートプレイの音量を調整してください。(P.120)
オペレータをご利用時、音声がとぎれる。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直しください。

インターネット連携（MC312D-A/Wのみ）

症　　状	原　　因	処　　置
「インターネットに接続できません。再度設定を確認してください」、または「インターネットに接続できません。しばらくしてから再度接続してください」の画面が表示される。	Bluetoothの設定、携帯電話会社の設定が正しく行われていない。	P.93、P.103を再度確認してください。
	お使いの携帯電話が適合機種にない。	接続可能な携帯電話の情報については、日産販売店にお問い合わせください。
	GPS受信ができない状態で、時刻が正しく取得できない状態にある。	建物の外などに移動して接続を行ってください。
	接続先のセンターにて改修が行われている。	しばらくしてから接続を行ってください。
「該当するメールアドレスがありません。サイトでユーザー登録を行ってからご利用ください」の画面が表示される。	入力したメールアドレスが間違っているか、会員登録されていないメールアドレスである。	入力したメールアドレスをご確認ください。大文字、小文字も区別しています。
「メールアドレス、あるいはパスワードが間違っています」の画面が表示される。	入力したメールアドレス、またはパスワードが間違っている。	入力したメールアドレス、パスワードをご確認ください。大文字、小文字も区別しています。
「他の製品を登録しているため、ログインできません」の画面が表示される。	入力したメールアドレスに、すでにほかの製品を登録している。	お客様相談室にご相談ください。
「現在、この製品は、別会員に登録されています」の画面が表示される。	お使いの製品が、別会員にすでに登録されている。	
「現在、この製品は、通信に係わる機能が使用できません」の画面が表示される。	お使いの製品が、使用できない状態にある。	
「現在、この製品は、譲渡のための準備中です」の画面が表示される。	お使いの製品が、譲渡する機器となっている。	
「現在、この製品は、修理中です」の画面が表示される。	お使いの製品が、修理中になっている。	

バックビューモニター

症　状	原　因	処　置
カメラ映像が表示されない。	セレクトレバーがＲの位置になっていない。	セレクトレバーがＲの位置になっているか確認してください。
	カメラの接続設定がOFFになっている。	**「カメラ接続設定」**(P.192)の「バックビューモニター」をONにしてください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD 素子を使用したカメラの特性による。	故障ではありません。
バックビューモニターのガイドラインが表示されない。	ガイドライン表示がOFFになっている。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

サイドブラインドモニター

症　状	原　因	処　置
カメラ映像が表示されない。	カメラの接続設定がOFFになっている。	**「カメラ接続設定」**(P.192)の「サイドブラインドモニター」をONにしてください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで軽く拭いてください。
サイドブラインドモニターのガイドラインが表示されない。	ガイドライン表示がOFFになっている。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

フロントサイドビューモニター

症　状	原　因	処　置
カメラ映像が表示されない。	車速が速い。	減速してください。
	加速した。	
	カメラの接続設定がOFFになっている。	**「カメラ接続設定」**(P.192)の「フロントサイドビューモニター」をONにしてください。
	操作パネルの動作が正常に終了せず、異常位置で停止している。	⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを正常位置に戻してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで軽く拭いてください。

アラウンドビューモニター

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	車速が速い。	減速してください。
	カメラの接続設定がOFFになっている。	**「カメラ接続設定」**(P.192)の「アラウンドビューモニター」をONにしてください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで軽く拭いてください。
画面上に×や！マークが表示される。	エラーが発生しています。	日産販売店にご相談ください。

その他

症　　状	原　　因	処　　置
画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ナビゲーション使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの消灯、またはナビゲーション本体の誤動作。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンキーをOFFにし、再度「ACC」または「ON」にしてください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられますので、お買い求めの日産販売店、または最寄りの日産販売店にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	起動直後は、設定情報などの確認に時間がかかる場合がある。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「パネルをオープンしてください」の画面が表示され、地図画面が表示されない。	操作パネルの動作が正常に終了せず、異常位置で停止している。	(⏏) ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開いてください。 その後も同じ症状が発生する場合は、日産販売店や相談窓口へご相談ください。

困ったときに…

症　　状	原　　因	処　　置
●その他		
「Check Map SD Memory Card.」の画面が表示される。	地図SDカードのデータを取得できない。	以下の操作を行ってください。 ① (⏏) ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開く ② エンジンキーをOFFにする ③「MAP DATA」のフタを開ける ④ 地図SDカードを入れ直す ⑤「MAP DATA」のフタを閉める
「地図データが読めません（*）」の画面が表示される。	地図SDカード挿入口に地図SDカードが挿入されていない。もしくは、地図データが読み取れない。	同梱の地図SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
iPod抜き忘れ警告をONに設定しているのに、iPod抜き忘れ警告の音声案内がされない。	ご使用のiPodが対応機種に入っていない。	ご使用のiPodが対応機種に入っているか確認してください。接続できるiPodについては、P.167をご覧ください。
	エンジンキーをONにした直後にエンジンキーをOFFにした。	iPodの接続を認識できるタイミングになかったためで、故障ではありません。
	iPod側で何らかのエラーになった。	一度iPodを取り外し再度挿入してください。解消されない場合は、iPod本体のリセットをお試しください。リセット方法の例は、P.169をご覧ください。

よくある質問について

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路探索結果で、最適ではない経路を案内されましたが…

A: ナビゲーションが道路種別などを考慮して経路探索しますので、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり探索条件を変えて探索を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、探索方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをおすすめします。

Q: 探索条件が有料優先に設定されていて、他の設定に変更できません。

A: 探索条件は、前回設定した探索条件が引き継がれる仕様となっています。下記のいずれかの方法から、探索条件を変更してください。

1.目的地を検索し、ルートを表示 ▶ 他のルートを選ぶ ▶ 5種類の複数ルートから、ご希望の探索条件を選択する
2.目的地を検索し、ガイド開始 ▶ メニュー ▶ ルート ▶ 画面下に表示される探索条件から、ご希望の探索条件を選択する
3.目的地を検索し、ガイド開始 ▶ メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ ルート探索条件の設定 ▶ 探索条件 ▶ご希望の探索条件を選択する

Q: 複数ルート表示で5ルート表示されません。

A: 必ずしも5ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、ほかのルートが探索できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート探索をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された探索条件のルートのほうの距離が短い場合は、あらかじめ設定された探索条件のルートを優先することがあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。（対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。）

Q: ナビゲーション画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2) FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3) 新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 操作時に、その時々でボタンが出たり出なかったりすることがありますが？

A: 操作できないボタンは非表示となる仕様になっています。画面上に表示されるボタンはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないボタンは非表示となったり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準はなんですか？

A: カーウイングスを利用して受信した交通情報、VICS情報、または統計交通情報(過去1年分のVICS情報を、曜日や時間帯によって分類し統計処理したデータ)をもとに計算しています。
なお、**「到着予想時刻の速度設定」**で**「自動計算」**OFFに設定した場合は、上記の情報は使用せず、道路の種別ごとにお客様が設定された速度を適用して計算します。

Q: 一般道優先で探索したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが引かれることがあります。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカーよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制にしたがって走行してください。

Q: ルート情報モード（高速道路）に自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路は、データ整備上、ルート情報モード（高速道路）に切り替わらない道路を含みます。

Q: ルート情報モードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、探索が終了するまで通常地図に戻ります。探索終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q: 「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。
さらに、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともあります。また、交差点の見やすさを考慮し表示を行っているので、場所によっては施設アイコンが表示されないことがあります。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されますが、仕様ですか？

A: 仕様です。マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地消去や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が表示されない。

A: 無料区間のみの場合、または高速道路上からルートを探索した場合などには料金が表示されないことがあります。

Q: VICS情報が取得できません。

A: VICS情報は音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でVICS情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。

Q: ルート情報モード時にパーキングエリアにある施設情報は表示できますか？

A: ルート情報モードで表示される施設リストのパーキングエリア（PA）をタッチすると、そのパーキングエリアにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 地図上に通行止めの表示が出ている道路にルートが引かれたが？

A: 「リアルタイム交通情報を考慮」設定がOFFになっている場合は、通行止めなどの規制についても無視してルートを探索します。
また、上記設定がONであっても、遠隔地の通行止めについてはルートに反映しない場合があります。この場合は、通行止め区間にある程度まで近づいた時点で、自動的に再探索を行い、通行止め区間を回避したルートに切り替わるようになっています。

Q: ルート案内中、インターチェンジを通過するたびに、高速道路を降りるよう案内されてしまう。

A: ナビゲーションの探索条件を「有料優先」にして、再度ルート設定をお試しください。

Q: 地図データを更新したら、ルート学習が反映されなくなった。

A: 地図データを更新すると、それまでの学習内容がリセットされます。申し訳ありませんが、再度学習させていただくようお願いします。

Q: 地図上に表示される、黄色い丸のビックリマーク（！）のアイコンは何ですか？

A: ビックリマークのアイコンは、交通事故多発地点を表します。このアイコンは200m以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。このアイコンは、地図画面の 表示変更 ▶ その他 ▶ 交通事故多発地点表示 をタッチして、表示／非表示を切り替えられます。

オーディオ編

■ 地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］ボタンとは何ですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるボタンです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: ワンセグのサブチャンネルの番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。チャンネル番号を入力して選局、または番組表（EPG）から選局してください。

Q: 走行中、TVを観ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを観ることは禁止されています。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを観ることが可能です。

Q: 放送メールとは何ですか？

A: 放送メールとは、地上デジタルTV放送を利用して、ナビゲーションにメールを送るシステムです。放送局側でメール配信していれば、TVの設定メニューからメール内容をご覧いただけます。受信した放送メールは8個まで保存され、8個を超えた場合は、古いメールから自動的に消去されます。

Q: 画面が横長に見えるが直せますか？

A: 本機のTV画面は、縦横比率が家庭用のTVと違い、やや横長になっています。ナビゲーションの設定で変更はできません。

■ DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWが再生できません。

A: お手持ちのレコーダーの録画機能をご確認ください。ハイビジョン画質で録画されている場合、本機では再生できません。通常画質のVRモードで録画し、ファイナライズしてご利用ください。

■ CD

Q: CD-Rが再生されません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できないケースがあります。書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので、一番遅い速度での書き込みをおすすめいたします。

■ SDカード／ USBメモリー

Q: SDカードに音楽を入れるときの注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなり、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMA、AACのみとなります。

※ iTunesで購入した音楽は再生できません。

※ SDオーディオには対応していません。

※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: USBメモリーのMP3ファイルを再生中、曲の途中で再生されなかったり、次の曲に移らないで固まることがあります。

A: VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルの場合、USBメモリーの転送速度性能との関係で、このような症状が出ることがあります。ビットレートが一定の値で決まっているCBR（コンスタントビットレート）で記録すると安定します。CBRで記録したファイルの再生をお試しください。

■ ミュージックキャッチャー

Q:「ミュージックキャッチャー」って何ですか？

A: CDに入っている音楽をSDカードに録音、再生する機能です。ジュークボックス的な機能とお考えください。一度アルバムを録音すれば、以降の録音は不要です。

Q: 録音できる曲数は？

A: 最大4000曲です。ただし、録音する曲の長さなどにより、曲数は変化します。アルバム数は500以内、アルバム中の曲数は99曲以内の制限があります。

Q: 録音中に ⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチすると、メッセージが表示されて操作パネルを開くことができません。

A: 録音中に操作パネルを開くことはできません。メッセージに表示されているように録音を停止して再度操作してください。

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: お好みのアルバムを選んで再生してください。

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。

A: Gracenote のデータベースに該当するアルバムの情報がありません。PC用アプリケーション「Smart Access Updater」を使用して最新の情報に更新してください。

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: SDカードにトラック情報を書き出し、PC用アプリケーション「Smart Access Updater」を使用してGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SDカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q:「Smart Access Updater」のCDタイトルキャッチャー機能で書き出しを行ったSDカードを使っても、アルバム情報の更新ができない。

A: 更新に必要なアルバム情報がパソコン上にあり、SDカードに入っていない可能性があります。詳しくは、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書をご覧ください。

Q: アーティスト／アルバム／トラックなどのタイトルが間違っている。

A: パソコンで複製したディスクを使った場合は、タイトル表示されないことがあります。

Q: ランダムおよびリピート再生は、エンジンキーをOFFにしたら解除されますか？

A: エンジンキーをOFFにしても保持されます。

Q: CD本体は途切れがないのに、録音すると曲が途切れて聞こえる。

A: 録音にノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）をお使いの場合、仕様上、トラックとトラックの間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。このため、曲が途切れたように聞こえます。

Q: CD再生はできるのに、録音できない。

A: 傷があるなどディスクの状態によっては、録音できない場合があります。

■ iPod

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？

A: iPodをUSB端子につなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

Q: iPodをUSB接続し再生すると、カウンターは進むが音と映像が出ない。

A: iPodのビデオを再生する場合は、ビデオ対応iPodケーブル（同梱）を使用して接続してください。

Q: iPhoneのビデオを再生すると画面が流れて映る。

A: iPhoneのビデオ出力が日本方式の「NTSC方式」ではなく、「PAL方式」に設定されていることが考えられます。iPhoneのメニューから「設定」→「iPod」→テレビ出力の「テレビ信号」→「NTSC」を選択し、設定を変更してください。

Q: iPhoneをUSBケーブルで接続しているがナビゲーション側で操作ができない。

A: iPhone側の設定で音声出力先をBluetooth（MY-CAR）にしていると、iPhone側の操作で音楽再生は可能ですが、ナビゲーション側での操作ができず、リストも表示されません。音声出力先を「Dockコネクタ」に変更すると、ナビゲーション側での操作およびリスト表示が可能となります。

■ Bluetoothオーディオ

Q: Bluetoothオーディオ再生時、画面に曲名が表示されない。

A: 本機は曲名表示するためのプロファイルAVRCP1.3に対応しております。携帯電話側のプロファイルAVRCPが1.3以上でないと曲名表示はできません。携帯電話のAVRCPバージョンを携帯電話会社にご確認ください。

■ VTR

Q: VTRの操作ができない。

A: iPhone連携中のiPhoneからはVTR操作はできません。VTRを操作したい場合は、iPhone連携を終了するか、もしくはiPhoneを取り外してください。

その他編

■ 電話

Q: ペアリングができない。

A: お使いの携帯電話によっては、あらかじめ携帯電話側のBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Q:「5台のBluetooth機器が既に登録されています。」とメッセージが表示されました。どうすればよいですか？

A: 本機に登録できるBluetooth対応機器は5台までです。さらに登録したい場合は、すでに登録された機器の設定を消し、再度登録を行ってください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A:「自動応答保留」の設定をONにすると、応答保留状態で電話に出られます。ただし、携帯電話によっては、保留機能が動作しない場合があります。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: 携帯電話により、携帯電話側の問題で通信異常が発生する場合があります。携帯電話側のBluetooth機能をOFF→ONにした後、本機のBluetooth機能もOFF→ONにしてください。

Q: 電話はつながったが相手の声が聞こえない。

A: 電話画面でプライベート設定を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A:「送話音量」の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ない場合、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: 携帯電話が自動で接続されません。

A: 携帯電話がBluetooth接続可能な状態に設定されているか確認してください。また、Bluetoothオーディオ再生中は、携帯電話の自動接続を行いません。手動で接続してください。

Q: パスキーとデバイス名称を変更したい。

A: 本機に設定されているパスキーとデバイス名称は変更できます。(P.102)

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？

A: 走行中は短縮ダイヤル、発着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、登録電話番号の名称は表示しますが、電話番号は表示しません。また、ダイヤル、電話帳からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答保留」をONに設定しておくと、着信から2秒後に自動で保留状態となります。保留状態から通話への切り替えは可能です。

Q: Bluetooth対応携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？

A: ペアリング可能な携帯電話の登録は5台ですが、使用できる電話は2台までとなります。また、２台同時の通話はできません。通話はどちらか一方となります。ほかの携帯電話を使用する場合には、電話機選択画面から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

Q: Bluetoothオーディオ再生中に、ハンズフリーを行うと、終話後に自動でオーディオが再生しない。

A: 接続している携帯電話によっては、終話後、自動再生しない場合があります。本機、または携帯電話で再生操作を行ってください。

Q: Bluetoothオーディオ機器を接続したが、スピーカーから音声が出力しない。

A: 接続機器の音声出力をBluetooth側へ切り替える操作が必要な場合があります。接続している携帯電話を操作し、設定変更を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。以前はデータ通信できたのにできなくなった。

A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、様々な条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

Q: 携帯電話をBluetooth接続しているが、着信音が小さい。

A: 電話設定メニューの 音量調整 をタッチして、着信音量を上げてください。(P.101)

Q: NTT docomoの携帯電話でmoperaサービスを使用しているが、インターネットに接続できない。

A: NTT docomoのmoperaサービスは、2012年3月末で終了しました。ご利用のかたはmoperaUに変更手続きをしていただきますようお願いいたします。

Q: 携帯電話から電話帳を転送する場合、登録可能な電話帳データは300件とあるが、1人に複数の電話番号を登録している場合はどうなるのか？

A: 本機では1人を1件として登録しますので、複数の電話番号を登録している場合でも、300人分のデータが登録可能です。なお、1人に6件以上の電話番号が登録されている場合は5件までダウンロードされ、6件目以降はダウンロードされません。

■ 画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計表示にすることが可能です。

Q: 常に画面に時計を表示できますか？

A: 可能です。地図・メニュー画面とオーディオ映像画面で別々に時計表示を設定できます。(P.12)

■ バックビューモニター

Q: バックビューモニターの明るさを調整できますか？

A: 調整は可能です。

Q: バックビューモニターの映像は、後席テレビに映りますか？

A: バックビューモニターの映像はナビゲーション本体のみ映り、後席テレビには映りません。

■ カーウイングス

Q: カーウイングスサービス利用時、通常の音声電話に比べてサービスエリアが狭い、また、つながりにくい。

A: カーウイングス情報センターとの通信にデータ通信モードを使用しているためと、考えられます。しばらくしてからおかけ直しください。

Q: カーウイングスでダウンロード中、画面が表示される時間よりも実際の通信時間のほうが長い。

A: 携帯電話の機種によっては、携帯電話の通信開始・終了のタイミングよりも、本機の画面表示・切り替わりのほうが、やや速いことがあります。

■ iPhone連携

Q: iPhoneと本機をビデオ対応iPodケーブルで接続して本機画面の アプリ一覧 または 起動中アプリ をタッチしたが、エラー表示されて、iPhone連携できない。

A: いったんビデオ対応iPodケーブルを外し、iPhoneのスリープ状態を解除します。次に連携専用アプリケーションを起動してから、ビデオ対応iPodケーブルを再度接続してください。

Q: iPhoneと本機をビデオ対応iPodケーブルで接続後、iPhone連携したが「一旦接続を解除して、Smart Accessを起動し、オススメリストから利用したいアプリをインストール後、再接続してください。」とメッセージが表示される。

A: iPhoneに連携専用アプリケーションがインストールされていない場合に表示されるメッセージです。いったんビデオ対応iPodケーブルを外し、iPhoneでSmart Accessを起動して、オススメリストより連携専用アプリケーションをインストールしてください。

Q:「ダウンロードに失敗しました。」とメッセージが表示される。

A: iPhoneの電波状況が良好な場所で、iPhoneとビデオ対応iPodケーブルを再度接続してください。

Q:「接続に失敗しました。」とメッセージが表示される。

A: いったんビデオ対応iPodケーブルを外し、再度接続してください。

Q: iPhone連携中に本機の画面から「！」マークをタッチしたがSmart Accessを更新できない。

A: 安全上の理由のため、iPhone連携中はSmart Accessを更新できません。ビデオ対応iPodケーブルを外し、iPhone側でSmart Accessの更新をしてください。

Q: iPhoneの画面に「アプリがインストールされていません。」と表示される。

A:「はい」をタッチした後、ビデオ対応iPodケーブルを外し、iPhone側でApp StoreからSmart Accessをインストールしてください。

Q: iPhone連携中に「スマートフォン連携がご利用できません、スマートフォンを確認下さい。」とメッセージが表示され、iPhone連携が終了してしまう。

A: いったんビデオ対応iPodケーブルを外し、iPhoneで連携専用アプリケーションを起動してから、ビデオ対応iPodケーブルを再度接続してください。

Q: Smart AccessキーをタッチしてiPhone連携モードになったが、アプリケーションの映像が表示されず黒い画面となる。

A: ビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子の接続を確認してください。同梱のケーブル以外は、お使いになれません。

Q: iPhone連携中に電話の発着信はできますか？

A: 本機にiPhoneをBluetooth対応機器として登録し、本機のBluetooth機能をONにした後、iPhoneのBluetooth機能もONにすると発着信ができます。

Q: 電話発信後、iPhone連携画面でエラー画面が表示されてしまう。

A: iPhoneのOSのバージョンによっては、電話発信後にiPhone連携が解除され、本機の画面にエラーが表示される場合があります。iPhone側の操作で、Home画面からSmart Accessを起動してください。

Q: iPhone連携中にメールを受信できますか？

A: メールの受信はできますが、受信したことは本機画面には通知されません。

Q: アプリケーション使用中、「接続に失敗しました。」「サーバーに接続できません。」などのメッセージが表示される。

A: サーバーと連携するアプリケーションは、iPhoneの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。電波状況の良好な場所でお使いください。

Q: 以前使えたiPhone連携が使えなくなった。

A: iPhone側の電源が入っているか、iPhone側が強制スリープモードになっていないかを確認してください。

Q: iPhoneが動作しないように見える。

A: 一度、DockコネクタからiPhoneを取り外して再度接続してください。もしくは、iPhone側の電源をOFF→ONにしてください。

■ その他

Q: 盗難防止装置は付いていますか？

A: 本機のセキュリティ機能として、暗証番号を設定する盗難防止機能があります。盗難時にはセキュリティ機能が働き、いったん取り外されたナビゲーションを起動させるときには暗証番号を入力しないと起動できないようになっています。また、エンジンキーをOFFにするとLEDランプが点滅して車室内への侵入者を威嚇・警戒します。盗難防止機能とLED点滅のON/OFFは選択可能です。

※本機の盗難防止機能は、100%盗難を防ぐものではありません。盗難防止機能作動時における盗難については、当社は一切その責任を負いかねます。暗証番号はメモを取るなどして大切に保管してください。